

募集要項

募集人数 15名（最少催行人数10名）

参加資格 中学生以上の健康な男女（但し18歳未満は保護者の同意が必要）

参加費 350,000円(1室2名利用)
※ひとり部屋利用代金:お問い合わせください。

本事業は、公益財団法人山梨県緑化推進機構、一般財団法人山梨県森林総合コンサルタントより助成を受けて実施します。

参加費に含まれるもの

航空運賃、空港使用料、現地空港税、旅程表に明記された滞在中の宿泊(相部屋)・食事・交通費、植林費用、ワークショップ費用、現地住民との交流費

参加費に含まれないもの

パスポート取得費、日本国内交通費(ご自宅⇄成田空港)、電話代、日曜日の食事代、飲み物代、チップ、個人海外保険費用、その他個人的費用など

申込締切 2026年(令和8年)7月31日(金) ※申込書必着

出発までの予定 事前学習会 1回(旅行説明・現地状況報告など)

【旅行条件書(要旨)】

1.募集型企画旅行契約

この旅行は、株式会社トーホートラベルが企画・実施する旅行であり、お客様は、当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。旅行契約の内容・条件は、別途お渡しする旅行条件書(全文)、ご出発前にお渡しする最終旅行日程表(確定書面)によります。

2.旅行のお申込みと契約の成立

当社所定の旅行申込書にご記入のうえ、下記申込料金を添えてお申込みいただきます。電話でのお申込みの場合、当社が予約の承諾を通知した日から起算して3日以内に申込金をお支払いいただきます。旅行契約は当社が契約の締結を承諾し、受理したときに成立いたします。

旅行代金の額 (お1人様)	申込金(お1人様)	
	出発日の前日から起算してさかのぼって60日目にあたる日まで	出発日の前日から起算してさかのぼって61日目以前(※)
50万円以上	10万円以上旅行金額まで	10万円以上旅行代金の20%以内
30万円以上50万円未満	5万円以上旅行代金まで	5万円以上旅行代金の20%以内
15万円以上30万円未満	3万円以上旅行代金まで	3万円以上旅行代金の20%以内
10万円以上15万円未満	2万円以上旅行代金まで	2万円以上旅行代金の20%以内
10万円未満	旅行代金の20%以上旅行代金まで	旅行代金の20%

※次の場合には、旅行代金の20%を超える金額を申込金として收受することがあります。①当社が取引条件説明書面で申込金の用途を表示する場合、②お客様がクレジットカード支払いを選択した場合、③その他のお客様が希望した場合

3.取消料

お客様は次の取消料をお支払いいただくことで、いつでも旅行契約を解除できます。

旅行契約の取消日 旅行開始日の前日から起算して	特定日に開始する旅行	特定日以外に開始する旅行
40日前以降～31日前まで	旅行代金の10%	無料
30日前以降～3日前まで	旅行代金の20%	
2日前～当日の旅行開始前	旅行代金の50%	
旅行開始後または無連絡不参加	旅行代金の100%	

特定日：4/27～5/6、7/20～8/31、12/20～1/7

4.お客様の確認事項

- ①現在お持ちのパスポートが今回の旅行に有効かどうか、渡航先のビザの要否など確認のうえ、ご自身の責任においてご旅行に必要なパスポート、ビザをご用意ください。
- ②渡航先の「海外安全情報」「海外感染情報」及び「たびレジ」をご確認ください。
海外安全ホームページ⇒<https://www.anzen.mofa.go.jp/>
感染症情報ページ⇒<https://www.forth.go.jp/>
たびレジ⇒<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

5.その他

- ①コースに明示されていない場合はエコノミークラスを利用します。
- ②より安心してご旅行いただくために、ご旅行中の病気や事故・盗難に備えて、海外旅行保険のご加入をおすすめします。
- ③特別な手配をご希望の方は必ずお申込み時に担当者へお申し出ください(一部有料。歩行に自信がない、病気による食事制限が

【旅行企画・実施】

観光庁長官登録旅行業務第1848号
株式会社トーホートラベル
東京都中央区日本橋茅場町3-8-5 松村ビル2階
TEL 03-5643-8031

【お問い合わせ・お申込み】

(公財)オイスカ山梨県支部
山梨県甲府市武田1-2-5 3階
TEL・FAX 055-267-5951
E-MAIL oisca055@axel.ocn.ne.jp



地球環境再生植林フォーラム 2026 in フィジー 募集要項

～ フィジー・ビチレブ島 ～
2026年9月23日(水・祝)～9月30日(水)



自然とともに生きる暮らしを訪ねて
～ マングローブ植林とハーブ文化に触れる旅 ～

フィジーの自然環境とオイスカの取り組み

急激な都市化やリゾート開発が進むフィジーでは、マングローブ林の伐採や気候変動による海面上昇の影響により、海岸浸食が深刻な課題となっています。オイスカはフィジー政府の青年スポーツ省と協定を結び、農村青年への有機農業技術の指導を通じた人材育成を進めるとともに、1993年から地域住民参加型の植林活動を行ってきました。これまで村やコミュニティ、学校などと協力しながら30以上のサイトでマングローブ植林を実施しています。本ツアーでは、こうしたマングローブ植林に加え、国立公園内での植林活動や、「子供の森」計画に参加する学校を訪問し、子どもたちとの交流や植林活動にも参加します。現地の人々と共に自然を守る活動に関わることで、気候変動や環境保全について学びながら、自然と共に生きるフィジーの暮らしや文化を体感することができます。日本からの参加者が現地の方々と共に活動することは、地域の環境保全への意識を高めるとともに、国際協力や社会貢献の大切さを実感する機会にもなります。豊かな自然に囲まれたフィジーで、学びと交流、そして行動する体験をぜひお楽しみください。



フィジーのハーブ文化から学ぶこと

イランイランの花の香りで鼻をくすぐられて目覚め、村のみんなの力強い一日が始まる…。月桃やサンダルウッドなど私たちにもなじみの香り豊かな植物もフィジーには自生し、メディカルハーブとして活用されています。

このツアーで植林するマングローブはフィジー語では「dogo」。dogoの入り江には小魚が集まりフィジアン人の食を豊かにするとともに、実や葉は薬に、樹皮の煮汁は染料にと、活かされてきました。

海に囲まれたフィジーならではのハーブとの付き合い方や暮らしの知恵は、自然の中で生きる人と植物の本当の在り方を考えさせてくれます。そして、口承で受け継がれてきたフィジーのハーブ文化からは、人と人が直接触れ合うことでしか伝わらない、繊細な温かい知恵があることにも気づかせてくれるのです。こんなフィジーの文化が、子どもたちに、そのまた子どもたちに繋がっていくよう、dogoを植えたいと思います。

故・フィジアンハーブ研究家 村上志緒 先生（薬学博士）より



日程

	日付	都市	時間	交通機関	日程	食事
①	9/23(水・祝)	成田空港	16:30	Fiji Airways	成田までは各自 成田からフィジーへ 機内泊	夜機内
②	9/24(木)	ナンディ空港 コラルコスト 周辺	04:35	専用車	フィジー着後、ホテルへ ホテルにて休息後、オイスカ フィジィ / ナサウ・ユ -ストレーニングセンターにて歓迎セレモニー&ランチ 市場等へ 宿泊: Yadua Bay Resort(予定)	朝機内 昼○ 夜○
②	9/25(金)	コラルコスト 周辺	終日	専用車	マングローブ植林 「子供の森」計画参加校等訪問 植林&交 流 宿泊: Yadua Bay Resort(予定)	朝○ 昼○ 夜○
③	9/26(土)	コラルコスト 周辺	終日		サンド・デューンズ・ナショナルパークでの 植林と散策 宿泊: Yadua Bay Resort(予定)	朝○ 昼○ 夕○
④	9/27(日)		終日		首都スバへ、フィジー博物館見学等 宿泊: Yadua Bay Resort(予定)	朝○ 昼× 夜×
⑤	9/28(月)	コラルコスト 周辺	終日		フィジーのハーブ文化、暮らしの知恵を体験 宿泊: Yadua Bay Resort(予定)	朝○ 昼○ 夜○
⑥	9/29(火)	コラルコスト 周辺 デナラウ ナンディ空港	23:55	専用車 Fiji Airways	デナラウから空港へ移動 フィジーから成田へ 機内泊	朝○ 昼○ 夜○ 夜機内
⑦	9/30(水)	成田空港	06:10		成田空港到着、解散 お疲れ様でした。	朝機内

※旅程は状況により変更となる場合があります。

過去の植林フォーラム実施国

1993 タイ ランブーン
1994 フィリピン エバビスカヤ・ダバオ
1995 フィリピン パラワン島
1996 マレーシア クランタン
1997 フィリピン エバビスカヤ
1998-1999-2000 タイ チャンタブリ
2001-2002-2004 ベトナム カンザー

2005-2006-2007 タイ ラノーン
2008-2009-2010 フィリピン エバビスカヤ
2011 内モンゴル
2012-2013-2014 フィリピン エバビスカヤ
2015-2016-2017 フィリピン ネグロス
2018-2019 モンゴル エルデネト
2024-2025 フィジー ビチレブ島